

# 11 課

9月10日

## 試練の中で待つ



安息日午後 9月3日

### 暗唱聖句

しかし、御霊の実は、……寛容（である）。（ガラテヤ5：22、口語訳）

これに対して、霊の結ぶ実は……寛容（です）。（ガラテヤ5：22、新共同訳）

### 今週の聖句

ローマ15：4、5、ローマ5：3～5、サムエル記上26章、詩編37：1～11

### 今週のテーマ

ある科学者が4歳児とマシュマロの実験をしました。科学者は、子どもたちに、マシュマロをいつ食べてもいいが、用事を済ませて戻ってくるまで待っていればマシュマロを二つあげると言って部屋を出ました。科学者が部屋を出た途端にマシュマロを口に押し込む子どももいれば、じっと待っている子どももいました。そして、その行動の違いが記録されました。

科学者がその後、この子どもたちを10代になるまで追跡調査したところ、待つことができた子どもたちはより順応性に富み、優秀で、待てなかった子どもたちよりも自信を持つようになったというのです。この結果から、人間の性格のなかでも、忍耐は他の要素より大きな影響を与える、より重要な要素であると言えるでしょう。それが事実であるとすれば、主が私たちに忍耐を養うように命じておられるのも不思議ではありません。

今週、私たちは、すべての試練の中でも最も厳しい試練の一つについて学びます。それは「待つ」という試練です。

### 今週のポイント

私たちは時に、なぜ長い間待たなければならないのでしょうか。このような試練を経験する中で、私たちは忍耐についてどのような教訓を学ぶことができるのでしょうか。

**問1** ローマ 15：4、5 を読んでください。これらの聖句からどのような発見があるでしょうか。

私たちは通常、本当に欲しい物があつたり、約束された物が手に入らなかつたりすると我慢できないものです。長い間欲しかったものが手に入って、やっと満足できることもよくあります。私たちは、欲しいものがあつても、それがなかなか手に入らないと、間違いなくイライラしたり、我慢できなくなつたりします。そして、そのような状態にあるときはほとんど、心に平安を保ち、神に信頼することはできないのです。

待つことには痛みが伴います。「待ち焦がれる」(詩編 37：7) と訳されているヘブライ語は、「大きな痛みとなる」「振るう」「揺らす」「深い悲しみとなる」といった意味を持つ語から来ています。忍耐を学ぶことは簡単ではありません。それは時に、まさに試練のただ中にあることを意味します。

**問2** 詩編 27：14、37：7、ローマ 5：3～5 を読んでください。これらの聖句は私たちに何を語っていますか。忍耐は何を生むでしょうか。

私たちの待っているときの態度は、次の二つのどちらかです。待ち望んでいるものに意識を向けるか、それらのことを御手に治めておられる方に目を注ぐかです。何かを待つときに重要なことは、どれだけ長く待ったかではなく、どのように待ったか、つまりその姿勢です。もし私たちが主に信頼し、私たちの人生を主の御手に置き、私たちの意思を主にゆだねているなら、たとえ一時的にそれを信じるのが難しくても、主が私たちにとって最善の時に、私たちににとって最善の方法でそれをしてくださると信じるができるのです。

あなたは絶望的になりつつも待っていることがありますか。あなたはどうかすれば神と神の時にすべてをゆだねることを学ぶことができるでしょうか。あなたの道を完全に神にゆだね、主に従うことができるように祈りましょう。

問3 ローマ5:6、ガラテヤ4:4を読んでください。これらの聖句は神の時について何を語っていますか。

これらの聖句で、パウロは、イエスはその定められた時に正確に、私たちのために死ぬためにおいでになったと語ります。しかしパウロはなぜそれが正しい時であったのか、その理由は述べてはいません。これらの聖句を読んで、「なぜイエスは罪に対処するために数千年も待たれたのだろうか。なぜ宇宙はこれほど長い時をかけなければ、罪の恐ろしさを理解することができなかったのだろうか」と不思議に思うのは自然なことです。私たちはまた、なぜイエスは再臨を待っておられるのだろうかと問うでしょう。主はなぜ私の祈りに答えるのをこんなにも長く待たれるのだろうかと問うかもしれません。

問4 たとえば、メシアとしてのイエスを指し示すダニエル9:24~27の70週の預言について考えてみましょう。この「時」はどれほど長いものでしたか。あなたはこの預言から、人には長い時であるかもしれない「神の時」の内にあることについて何を学ぶことができますか。

私たちが時を待つには、多くの重要な霊的理由があります。第一に、待つことは、私たちの注意を世の「ものごと」から離し、神ご自身に向けることができます。第二に、待つことは、私たちの動機と願いをはっきりと描き出してくれます。第三に、待つことは、私たちの霊的なスタミナともいべき忍耐を養います。第四に、待つことは、信仰や信頼といった多くの霊的力を開発する扉を開きます。第五に、待つことは、神がその大きな絵のパズルに他のピースをはめることができる機会となります。第六に、私たちは決して待つべき理由を知ることはできません。したがって、私たちは信仰によって生きることを学ばねばなりません。あなたは待つことの原因をほかにも考えられますか。

聖書の中に、神はあなたのためにも、(たとえば、アブラハムとサラに与えられた約束の子のような) その時になんて働いてくださると信じる助けとなる例を見つけることができますか。同時に、「ずっと前に答えられていたはずの祈りを自分が遅らせてはいないだろうか」と自問してみてください。

サムエル記上16:1~13に、王としてサムエルから油を注がれた少年ダビデが登場します。しかしながら、彼の父、エッサイの牧場からエルサレムの王座までは長い道のりでした。彼は幾度となく試練のただ中にいると感じたことでしょう。

まず初めに、少年ダビデは、サウルの不安を癒すために音楽を奏でよう召されます(サム上16章)。後に彼は、ゴリアトを殺した英雄になります(同17章)。そして、命を狙われて逃亡した多くの年月が続きます。サウルとその息子ヨナタンは二人ともダビデが次の王になる運命であることを知っていました(同23:17、24:20)。しかしダビデは、その神が定められた運命に先んじては何もしませんでした。事実、彼は明らかに反対のことをします。サウルが彼を殺そうとしたときでさえ、ダビデはサウルの王衣の端を切り取りますが、そんなことをすべきでなかったと後悔します(同24:5~7)。サウルは再度ダビデを殺そうとしますが、ダビデはその好機にもサウルを殺すことを拒みます(同26:7~11)。

**問5** サムエル記上26:1~11を読んでください。ダビデはなぜサウルを殺すことを拒んだのでしょうか。このことは、私たちの人生のための計画に基づいて神がなさる方法についてどのような原則を教えてくださいか。

**問6** 次にサムエル記上26:12~25を読んでください。サウルを殺すことを拒んだダビデの行為は、サウルにどのような影響を与えましたか。この出来事は、神を待つことによる重要性について何を教えているのでしょうか。

ダビデの王座への道の全体は、おそらく次のように要約できるでしょう——神がまだお与えになっていない物を横取りしてはならない。神の賜物は神の定められた時に、その御手から受けるということが最善です。そのために非常に長い間待たねばならないかもしれません。もやしは数時間で成長します。一方、ナラの木は何十年もかかって成長します。しかし強風に吹かれるときにも、その樹は倒れることはないのです。

ダビデはいとも簡単にサウルを殺すことを正当化できたでしょう。しかし、彼の行為は神にある真の信仰を物語っていました。今あなたが待っていることにこの模範をどのように当てはめることができるでしょうか。

カルメル山頂での決定的な対決は終わりました（王上18章）。天から火が降り、すべての民は真の神を知り、偽りの預言者たちは殺されました。神の正しさが証明されました。当然、彼の霊的な力は強くなったと考えることでしょう。しかし、彼は突然彼を恐怖に陥れる知らせを聞いて死を願います。列王記上19：1～9の残りの物語を読んでください。最後の節の言葉は特に気になります。「主の言葉があった。『エリヤよ、ここで何をしているのか』（王上19：9）。結局、エリヤは恐れて逃げ、そして間違いを犯した自分に気がつきます。

**問7** カルメル山でのこれほど力強い主の介入の後、エリヤは信仰と真理に満ちていたはずでしたが、殺されるのを恐れて逃げます。この悪い模範からどのような教訓を学ぶことができますか。

この物語は重要な教訓を教えています。私たちは性急に事を判断するとき、容易に間違いを犯します。エリヤの場合、彼を襲った恐れが彼を混乱させ、生まれなければよかったのにと願いながら彼は荒れ野へと急ぎ逃れます。しかし、私たちが神のご計画から逸れるように急がせる原因は他にもあります。

**問8** 次の聖句を読んでください。創世記16：1～3、民数記20：10～12、士師記14：1～3、マタイ20：20、21、ルカ9：52～56、使徒言行録9：1。ここに登場する登場人物を神の御心の外へと急がせたものは何でしたか。

野心、怒り、激情、信仰の欠如、あるいは主のための「熱心」と言われるもの、このようなものは私たちに容易に性急な誤った判断をさせます。この危険に対して免疫のある人はいません。鍵となるのは、神の善意とあわれみに信頼する信仰です。私たちが知っている神は、私たちを愛し、私たちの最善を望んでおられます。

信仰は賜物ではありますが、それは養われ、育てられ、そして用心深く守られねばなりません。

「主に自らをゆだねよ／主はあなたの心の願いをかなえてくださる」(詩編37:4)。

あなたがずっと願っていたことがかなったと想像してください。詩編37:4はすばらしい約束ですが、心の願いがかなうことが主を喜ぶための条件にもなり得ます。では、「主を喜ぶ」とは何を意味するのでしょうか。

詩編37:1～11を読んでください。詩編37:4の文脈を知れば、あなたは少し驚くかもしれません。ダビデは神と彼に敵対する人々に囲まれてこれを書いたのです。普通人が私たちに敵対するときの自然な反応は、怒るか自分を正当化しようとするかです。しかしダビデは異なる助言をしています。

**問9** ダビデは下の節で、この状況の中で神の民にどのような助言をしていますか。

詩編 37 : 1 \_\_\_\_\_

詩編 37 : 5 \_\_\_\_\_

詩編 37 : 7 \_\_\_\_\_

詩編 37 : 8 \_\_\_\_\_

**問10** 詩編37:4をもう一度読んでください。これらの聖句に共通する文脈に照らすとき、「主を喜ぶ」とは何を意味するのでしょうか。

ダビデは異なる表現で何度も「神に信頼せよ」と繰り返します。主に信頼し、善を行え。いら立つな。なぜなら神はあなたの神だからです。そして神は今も、あなたのために働いておられるのです。あなたは自分で責任を負ったり、解決したりしなくても良いのです。天父が責任を負ってくださるのです。神に信頼しましょう。神に完全に信頼しましょう。

ダビデは、この文脈の中で主を喜ぶことについて書いているのです。神を喜ぶとは、神への完全に信頼した状態で生きることです。何事も私たちの平安を乱すことはできません。なぜなら神がここにおられ、働いておられるからです。私たちは神を賛美し、微笑むことさえできます。なぜなら私たちの神にまさる者はだれもないからです。このことを知るとき、真の意味で私たちの心の願いがかなえられるのです。なぜなら私たちは、私たちの神の国にとって最もふさわしいときに、愛する父が与えたいと望まれるものを受け取るからです。

参考資料として、『人類のあけぼの』第62章「ダビデ油を注がれる」を読んでください。

私たちのための神の計画は、多くの待つことを求めます。それは本当に試練のように感じられます。試練の中で忍耐を学ぶことは、神のご性質に心を向け、神が私たちのために行動しておられると信じる時可能になります。待たねばならない多くの理由がありますが、そのすべては私たちのための神のご計画と神の国に関係するものです。神に先んじて事を急ぐとき、私たちは多くを失います。しかし、神に信頼し、神を喜ぶ態度を維持するなら多くを得ることができます。

主は試練一つひとつの重さを量り、長さを測られます。

「私は、苦しみをお与えになる神の目的を理解することはできませんが、神は最善のものをご存じなので、私は私の魂、体、そして霊を忠実な創造主なる神に委ねます。『というのは、わたしは自分が信頼している方を知っており、わたしにゆだねられているものを、その方がかの日まで守ることがおできになると確信しているからです』（2テモ1:12)。もし私たちの魂が、より多くの信仰と愛、より強い忍耐、そして天父に完全に信頼することを学び、訓練されるなら、人生の闘いを生きる中で、日々もっと多くの平和と幸福を経験することができるでしょう。

主は、私たちがイエスのみ腕から離れて悩み、心配するのを喜ばれません。もっと静かに待つこと、そして全体を俯瞰することが必要です。私たちは正しい道から逸れていると感じない限り考えることをしません。そしてなおもその場にあるはずのしるしを探し続けるのです。しかし、考えることは感情によるのではなく、信仰によるのです」（『セレクトッド・メッセージ』第2巻242ページ、英文）。

### 話し合いのための質問

- ① イエスが一つひとつの試練を「量られる」とはどういう意味でしょうか。このことはどのように私たちが待つときの助けとなるでしょうか。
- ② クラスで忍耐強く待った証しがあれば分かち合いましょう。その経験にはどのような恐れ、喜びが伴い、どのように乗り越え、何を学んだでしょうか。どのような約束にすぎたでしょうか。
- ③ 神の時を待つ試練の中にある人々のために、クラスとして、教会として何ができるでしょうか。
- ④ 忍耐を養うために祈りはどのような役割を果たすでしょうか。聖霊がその人生に忍耐を培ってくださるよう祈るべき人がいますか。